

# 令和5年度第2回社会教育委員会議

令和5年11月14日（火）

# 目次

- 01 令和5年度生涯学習関連事業の進捗について
- 02 重点施策について
  - ┆市民アカデミー事業
  - ┆家庭教育学級事業
- 03 コミュニティ・スクールについて
- 04 その他

# 印西市民アカデミー事業

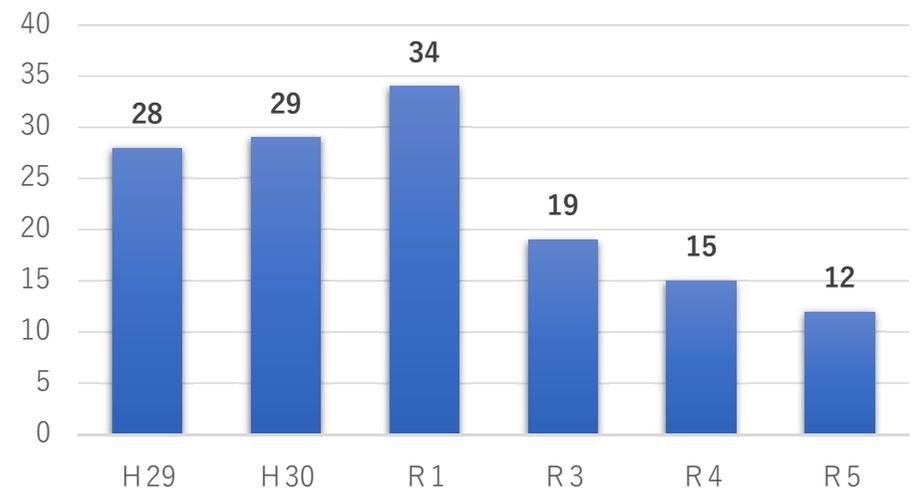
## 1年生の申込者数について

コロナ禍以降、年々応募の人数が減少している。

### ■想定される原因

- ・ 市民アカデミーの認知度の低さ
- ・ 卒業後に技能を活かせる場の少なさ
- ・ 実施日時、日数の調整

申込者数の推移



## (想定される原因) 市民アカデミーの認知度の低さ

### 改善案

- ・ 10月1日号広報へ掲載
- ・ 定期的な事業周知

### 目的

広報誌の効果により、数人から来年度入学希望の問い合わせあり。

### 効果

今後も、定期的に活動の様子を情報媒体へ掲載し、周知を図っていききたい。

## (想定される原因) 卒業後に技能を活かせる場の少なさ

### 改善案

- ・ 市民活動担当部署等との協力依頼
- ・ 市の各部署や関連施設・機関へニーズ調査実施

### 目的

市民活動担当部署等への協力依頼や、市の関係部署へニーズ調査を行うことで、卒業後の進路の多くの選択肢を提供すること出来る。

### 効果

**【懸念点】**  
卒業後の進路を求めている学生もいるため、期待値の調整が必要である。

## (想定される原因) 実施日時、日数の調整

### 改善案

- ・ 休日の講座の増加
- ・ 実施回数の調整（25回程度）

### 目的

コロナ前においては、年間50講座を実施していたが、参加者の負担軽減や入学しやすさの向上のため、現状の25講座程度の講座回数とする。

### 効果

働き世代の参加を狙い、休日の講座を増加させる。

# 家庭教育学級事業

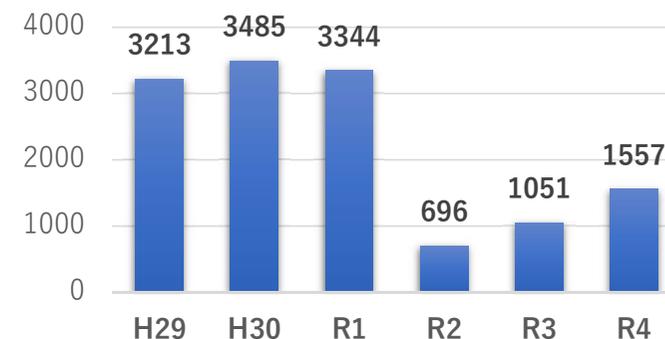
## 家庭教育学級の参加者数・学級数について

児童生徒数が増加している中、家庭教育学級の参加者数、学級数がコロナ前の水準まで回復しない。

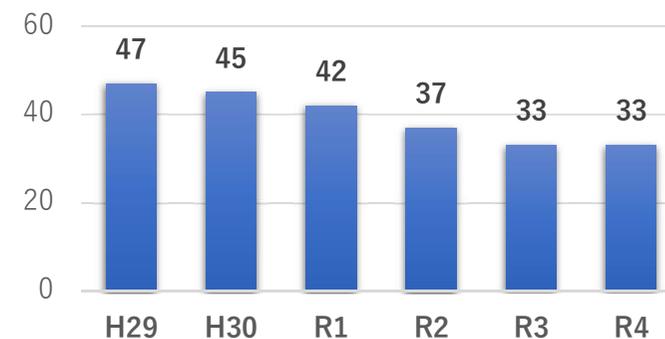
### ■想定される原因

- ・共働き世帯の増加

### 参加者数の推移



### 学級数の推移



## (想定される原因) 共働き世帯の増加

<b>改善案</b>	・ 休日に魅力的な事業の開催
<b>目的 効果</b>	市教育委員会主催による、家庭教育に関する講演会を休日に実施することで、共働き世帯の参加しやすい環境づくりを目的とする。

## (想定される原因) 共働き世帯の増加

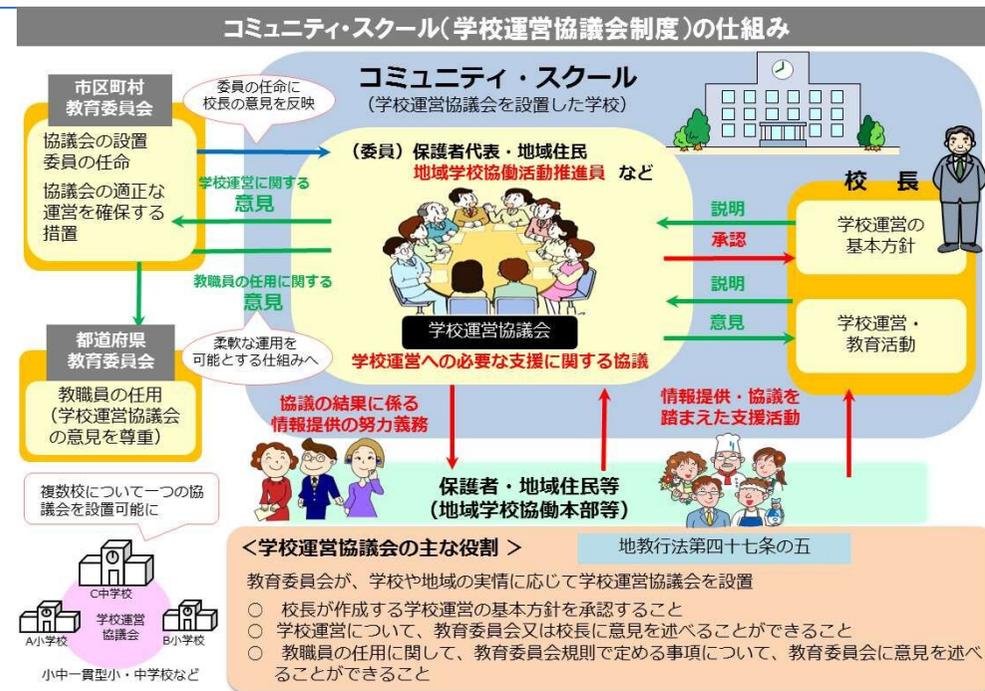
<b>改善案</b>	・ SNSでの情報発信
<b>目的 効果</b>	毎月発行している家庭教育学級通信をSNSでも配信することで、より多くの方へ向けて家庭教育について触れる機会を提供する。

# コミュニティスクールについて

## コミュニティスクールの導入について検討

今後の社会教育委員会議において、コミュニティスクールの導入に関連して、以下の内容を議題としたいと考えている。

- 学校運営協議会規則について
- 地域学校協働本部設置要綱について
- さわやかコミュニティについて



# その他

## 教育委員会所管の社会教育施設について

社会教育施設を整理するにあたり、以下の内容の検討が必要である。

- ・ 社会教育法適用の有無
- ・ 所管（市長部局or教育委員会部局）
- ・ 施設の名称

